

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 愛媛県立新居浜東高等学校  
 種 別  保育園・幼稚園     小学校     小中一貫教育  
            中学校                     中高一貫教育     高等学校  
            教員養成                     技術/職業教育  
            特別支援学校             その他 (                    )  
 所在地 〒792-0864  
愛媛県新居浜市東雲町2丁目9番1号  
 E-mail : niieh-ad@esnet.ed.jp

E-mail \_\_\_\_\_

Website \_\_\_\_\_

児童生徒数 男子 341 名    女子 457 名    合計 798 名  
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (                    )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

今年度はチャリティー活動を中心に行った。

● 7月 中学生1日体験

本校のユネスコスクールとしての活動を報告した。

● 8月 高校生ボランティアアワード 2016

地域・国際研究部が日頃の活動を「高校生の私たちにできること」というテーマでまとめ、「若獅子賞」を受賞した。

● 9月 文化祭バザーの収益金の寄付 (114024 円)

2年生が中心に行ったバザーでは、収益金を全てチャリティー団体などに寄付した。また、人権委員会ではフリーマーケットを行い、収益金を寄付した。

- ・ 認定 NPO 法人国際地雷処理・地域復興支援の会 [IMCCD] 50000 円
- ・ ユニセフ協会 30000 円
- ・ 歳末助け合い募金 10000 円
- ・ 東日本大震災義援金 10000 円
- ・ ハイチ地震被災者復興支援 14024 円

〒792-0864  
愛媛県新居浜市東豊町  
2丁目9番1  
愛媛県立新居浜東高等学校 御中

受領日: 2016年 12月18日

感謝状

金額 ¥217,159

募金 として、上記金額を受領いたしました。

特定非営利活動法人 (認定NPO法人)  
国際地雷処理・地域復興支援の会 (IMCCD)  
理事長 高山良二

〒790-0011 愛媛県松山市千寿町7-7-3 伊予総とんぼ屋  
TEL: 089-445-5273 info@imccd.org www.imccd.org

この度は当団体の活動にご賛同頂き、ご支援賜りましたこと、心から感謝申し上げます。  
頂きました支援は、カンボジアでの地雷処理と並行して、日本語学校の運営や日本への留学生招聘による人材育成活動、学校建設、井戸の掘削や道路の整備等、人々の自立と地域復興の為に、心して大切に使用させていただきます。本誌に形がとらうございました。  
今後ともIMCCDをどうぞよろしくお願いたします。

NPO法人 国際地雷処理・地域復興支援の会 (IMCCD) \*  
理事長 高山良二

払込金受領証

口座番号	001905
加入者名	公益財団法人 日本ユニセフ協会
金額	30000
ご依頼人	愛媛県立 新居浜東高等学校
料金	0円
特殊取扱	免除

受付局日附印  
28-11-10  
新居浜  
平形町  
郵便局  
(61291)  
N94140002

振替払込請求書兼受領証

口座番号	001304
金額	14940
加入者名	実行委員会
金額	14024
ご依頼人	新居浜東高等学校 生徒会
料金	130円
日附印	28-11-29 新居浜駅前 郵便局 (61280) N94220016

● 10月 ハイチ地震被災者・復興支援

生徒会が中心となってメッセージ写真と文化祭で集めた義援金を贈った。



●12月 カンボジア支援

地域・国際研究部を中心に今年度もカンボジアへの支援活動を行った。現地の日本語学校で活用できる日本語教材を動画で作成したり、ハンドメイド部と協力して、手作りかぼちゃタルトを販売したりした。

文化祭や菓子販売で得た217159円（昨年度分も含まれる）は認定NPO法人国際地雷処理・地域復興支援の会〔IMCCD〕に贈った。

それらの様子は愛媛新聞にも掲載された（平成29年1月22日）。



久万高原町内の学芸員と、天体観測館の藤「い」を共通テーマに解説の学芸員が、専門田康英学芸員が「危ない」分野について分かりやすく解説するイベント「ミュージアムカフェ」がこのほど、同町久万のまちなか交流館であり、約30人が生き物や天体について知識を深めた。



ブラックホールや危険な生き物について学芸員が解説したミュージアムカフェ

天野学芸員は、マツニヤムカデなど、身近な危険生物について話し、マツニヤムカデは自分では取らず、病院に行くなどの対応策を説明。藤田学芸員は「ブラックホールのABC」と題し、ブラックホールは非常に重力が強いため光が外に脱出できず、真っ黒で見えないことなどを解説。参加者は質問しながら興味深そうに耳を傾けていた。

### 危ない 生き物・天体学芸員解説 久万高原

### カボチャでカンボジア支援 手作りタルト販売

平和活動や国際連携実践するユネスコクラブに認定されている新居浜市東雲町2丁目、カンボジアの地域



撤去や生活支援のため手作り菓子のチャリティ販売があった。支援活動の中心を担う地域・国際研究部の部員7人がハンドメイド部の12人と協力し、1個50円のかぼちゃタルトを約100個作った。売り上げは一定の金額になるまで積み立てる。

地域・国際研究部は現地の状況を学びながら日本語教材を作成、寄贈する活動を通じて。部長の2年森詩音(さん)は「教育や衛生面が整っていないと聞いており、少しでも改善のために力になりたい」と語る。地雷処理専門家の高山良二

さん(砥部町)を通じ、2016年には文化祭や菓子販売で得た約22万円を寄付した。20日は昼休みの開始と同時に売り場前に長蛇の列ができ、タルトは約15分で完売した。元気な声で品物を手渡した2年近藤舞翔(さん)は「お菓子をきっかけに、学校みんなにカンボジアのことを知ってほしい」と願っていた。(梅林恭子)



### 雷漬作り 手際よく

松野町でカブの漬物「雷漬(かみなりつけ)」の生産が最盛期を迎えている。かむとパリパリという音がすることから名付けられた地域の特産品作りは2月いっぱい続く。

#### 松野で最盛期

地元有志6人による「元ケ滝雷漬生産グループ」が、高齢化のため生産を中止した女性グループから引き継ぎ、シン・ズン目となった。晴天となった21日は同町奥野川の加工場で作業。5

### 「アルティメット」魅力発信



新居浜 県内初大会に15チーム

- (2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)
- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
  - 時間外活動の時間を使用
  - ユネスコクラブの活動として実施
  - その他 ( )